

江東5区大規模水害ハザードマップ

大規模水害から 命を守ろう!



「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本情報(地図情報)を使用した。(承認番号 平30情使、第412号)」

荒川と江戸川が氾濫するおそれがある場合の避難行動について区民の皆さんに考えていただくために、江東5区が共同で水害ハザードマップを作成しました。

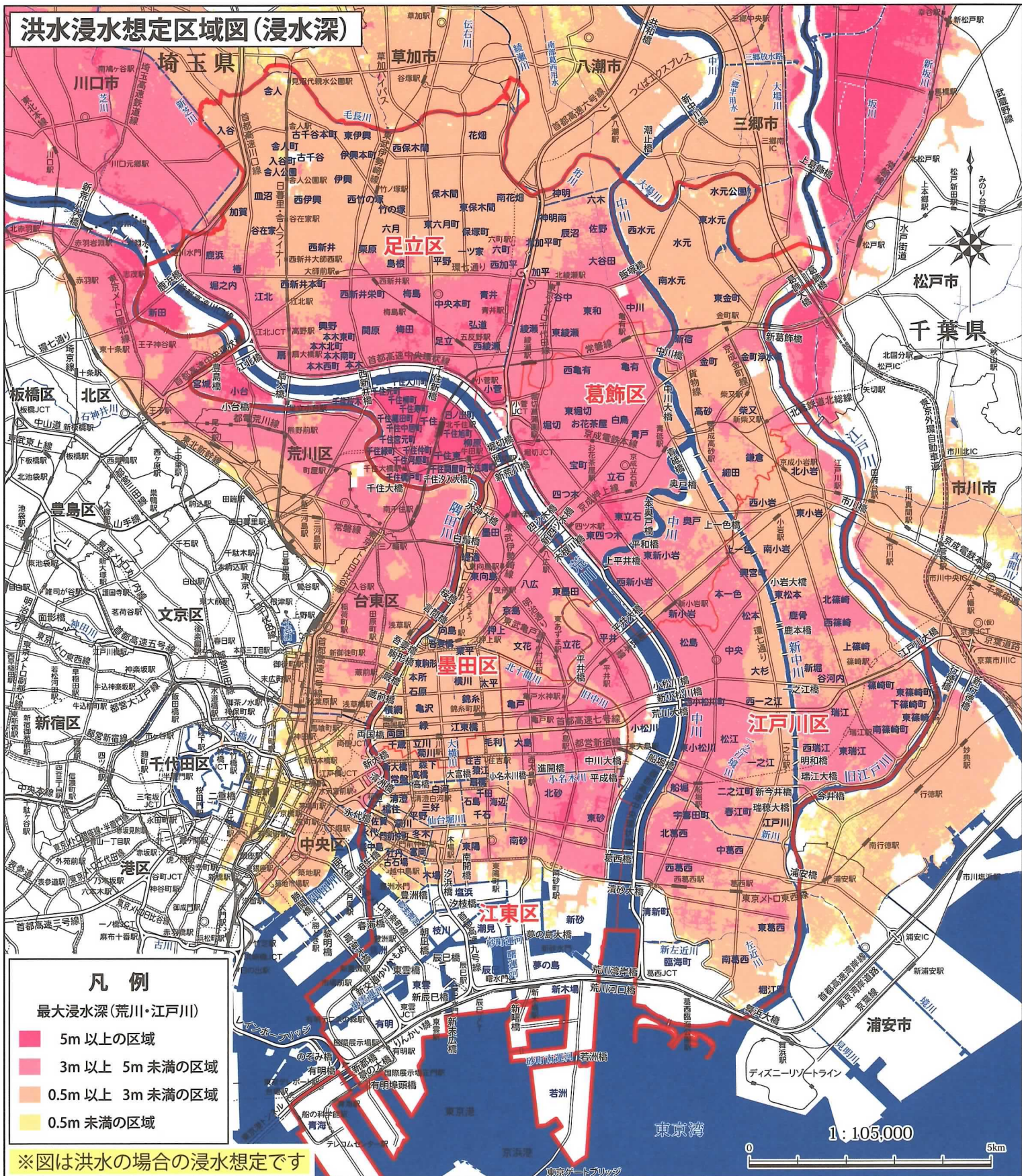
このハザードマップは、荒川と江戸川の浸水想定区域図を重ね合わせて作成したものです。

- 前提となる降雨(いずれも想定最大規模)
荒 川: 荒川流域の3日間総雨量632mm
江戸川: 利根川流域の3日間総雨量491mm

発行: 江東5区広域避難推進協議会

平成30年8月初版

お問い合わせ先: 墨田区 03-5608-6206, 江東区 03-3647-9584, 足立区 03-3880-5349, 葛飾区 03-5654-8572, 江戸川区 03-5662-1992



高潮による氾濫について

江東5区大規模水害ハザードマップは、荒川と江戸川が氾濫した場合の想定を示したものです。しかし、中心気圧930hPa以下の猛烈な台風が東京に接近した場合には、高潮が発生して、江東5区のほぼ全域が浸水するおそれがあります。高潮が発生するおそれがある時は、江東5区が早い段階で広域避難勧告を発令し、避難を呼びかけますので、区からの情報に注意してください。

高潮浸水想定区域図（浸水深、浸水継続時間）

- ・我が国既往最大規模の台風（室戸台風級：910hPa）を想定
- ・東京港に最大の高潮を発生させるような台風の経路を設定
- ・高潮と同時に河川での洪水を考慮
- ・最悪の事態を想定し、堤防等の決壊を見込む

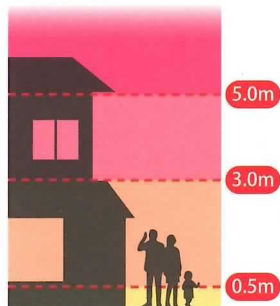
※下図は、東京都港湾局・建設局の高潮浸水想定区域図を基に作成したものです。
詳細図は、東京都港湾局・建設局のホームページからご覧になれます。

高潮浸水想定区域図 （浸水深）

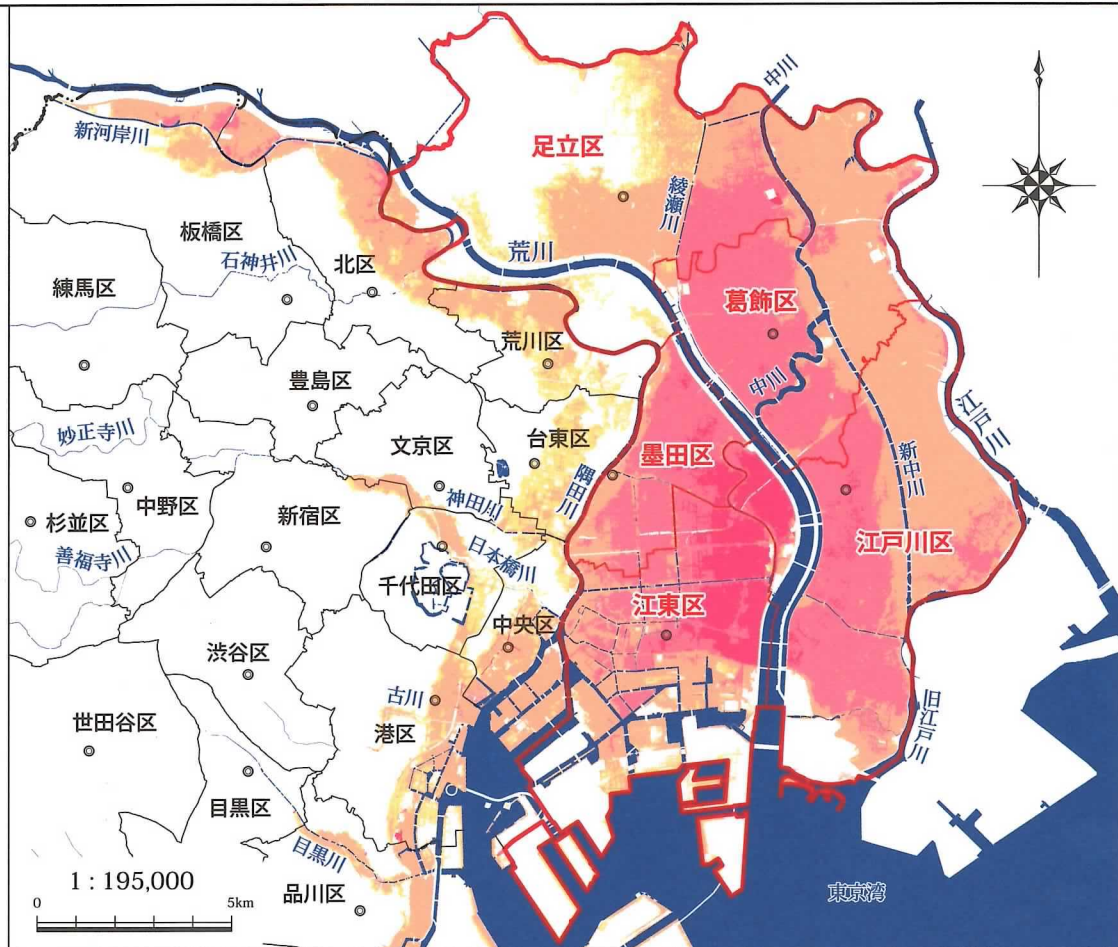
凡 例

最大浸水深（東京都高潮）

- 5m以上の区域
- 3m以上 5m未満の区域
- 0.5m以上 3m未満の区域
- 0.5m未満の区域



※図は東京都内の想定を示したものです



高潮浸水想定区域図 （浸水継続時間）



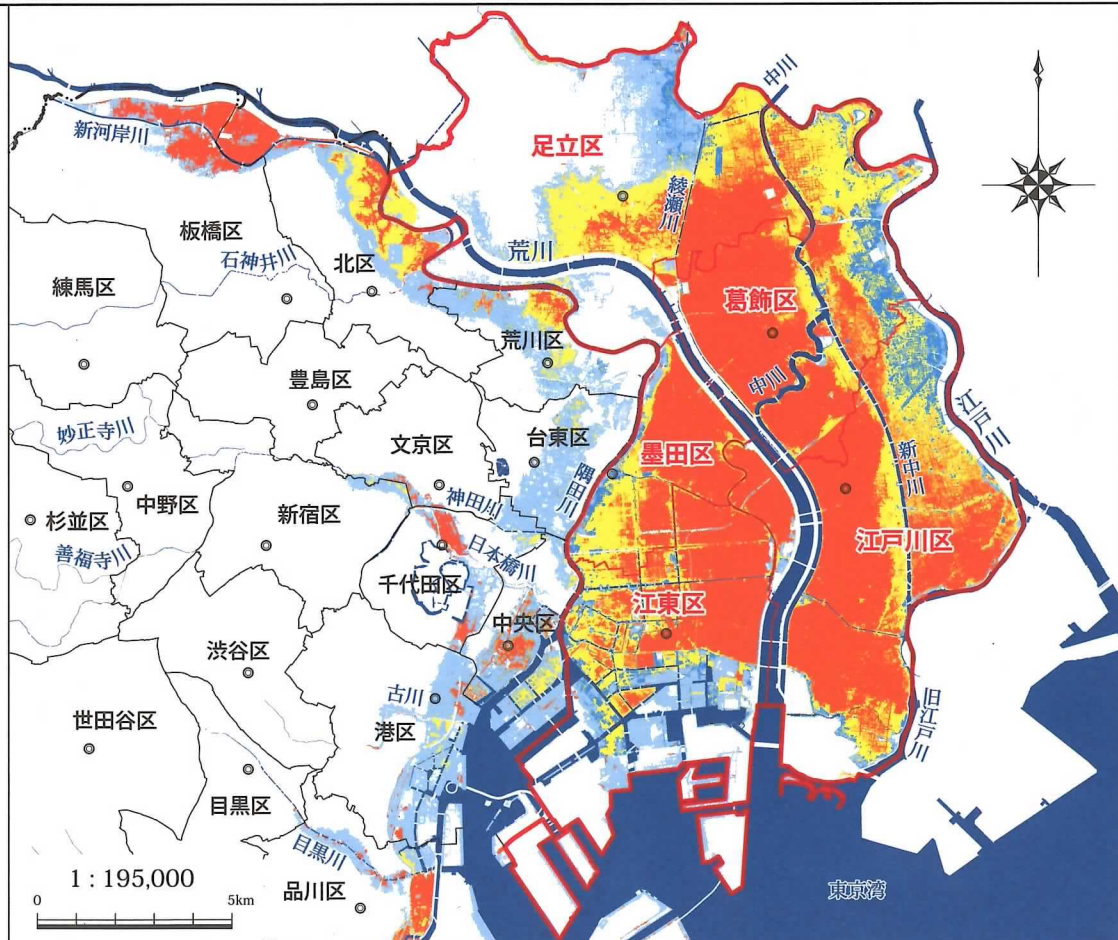
凡 例

浸水継続時間（東京都高潮）
浸水深50cm以上の区域

- 1週間以上
- 3日以上 7日未満
- 1日以上 3日未満
- 12時間以上 24時間未満
- 0時間以上 12時間未満

※浸水継続時間の最長区分（洪水：2週間以上、高潮：1週間以上）の違いは、それぞれの計算結果の表示区分の違いによるものであり、高潮の浸水継続時間が洪水よりも短いという意味ではありません。

※図は東京都内の想定を示したものです

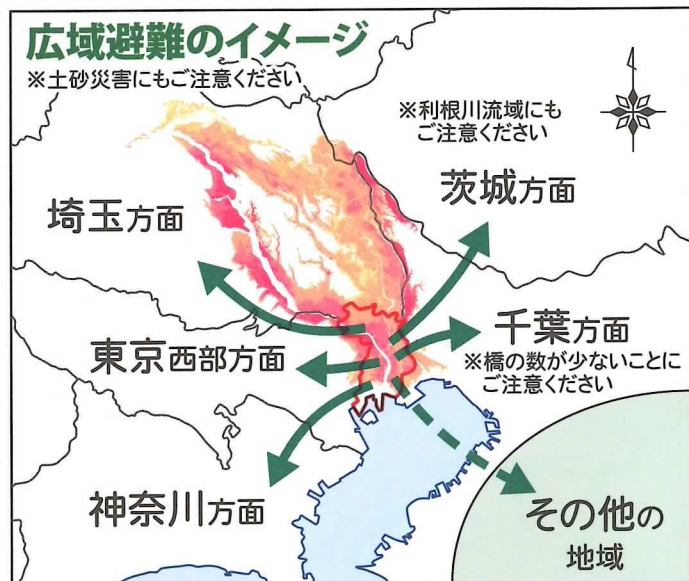


大規模水害が起きる可能性がある場合には、江東5区のほぼ全域に広域避難勧告が発令されます。各区からの情報に注意して、適切な避難行動を取ってください。

※避難行動などの詳細は、江東5区大規模水害広域避難計画をご覧ください。

江東5区で発令する避難情報について

72時間前 (3日前)	共同検討開始 江東5区が共同で、大規模水害への対応について検討します。
48時間前 (2日前)	自主的広域避難情報を発表します 広域避難勧告を発令する前に、自主的に江東5区外の安全な場所への避難を呼びかけます。
24時間前 (1日前)	広域避難勧告を発令します 区長が、江東5区外の地域への避難を勧告します。
9時間前	域内垂直避難指示(緊急)を発令します 広域避難をする時間的な猶予がないと判断した際に垂直避難行動をとるように区長が指示を出します。
氾濫発生	大規模水害発生後、浸水しなかった区域の住民は、速やかに帰宅してください。



江東5区では、非浸水地域の自治体と避難の受け入れについての協議を進めていますが、具体的な場所はまだ特定できていません。避難場所を開設できたとしても限りがあり、また混雑してプライバシーを確保することも難しいです。そのため、早めに浸水しない地域の親戚・知人宅やホテル、民宿、勤務先等の避難先に避難しましょう。



江東5区外の親戚・友人宅等の避難先の確保をお願いいたします。

避難の方法

電車での避難

雨風が強まる前に利用する交通機関の最新の情報を取得し、早めに避難を開始してください。



徒歩・自転車での避難

避難の開始が遅れると、橋梁部で混雑する可能性があります。交通誘導に従って、落ち着いて避難をしましょう。

自動車での避難

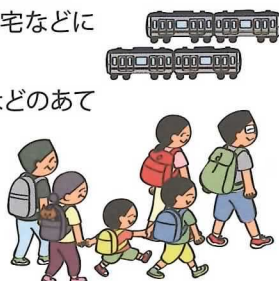
1日以上前に避難する(自主避難)場合：誰でも車で避難可能

1日前に広域避難勧告が発令があった場合：
避難行動要支援者やその付添者は車で避難可能

自動車での避難は、大渋滞が発生し、避難が間に合わなくなってしまう。そのため、御身体が不自由な要配慮者とその付添者以外の方は、広域避難勧告発令後に自動車での避難をするのは、ご遠慮ください。

江東5区外への広域避難について

- 浸水しない地域の親戚、友人、知人宅などに避難させてもらえないか検討する。
- もし避難できる親戚、友人、知人宅などのあてがあれば、事前をお願いしておく。
- 民間の宿泊施設へ避難する。
- 江東5区は関係機関と協議して、公的な避難先も決めていきます。



歩行が困難で公共交通機関を利用して江東5区外へ避難ができない方

- 車での早めの避難を検討する。
- 近隣の小・中学校への避難を考えておく。
- 避難時に常備薬や食料も持参する。

※近隣の小・中学校に避難した場合も、街が浸水するとライフラインが使えなくなります。



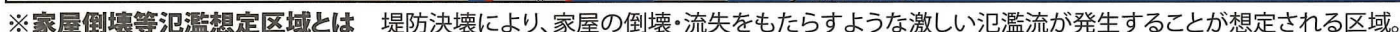
自宅に留まらざるを得ない時の屋内安全確保のポイント

- 2週間以上の浸水に備えて、水・食料・簡易トイレ・卓上コンロ・充電器等を、あらかじめ備蓄しておく。
- 浸水する階の貴重品や電化製品等は、浸水しない階まで上げる。
- 漏電を防ぐため、浸水する階の電化製品のコンセントは抜いて、ブレーカーも落とす。



すぐに江東5区外の安全な場所へ避難を開始してください。

江東5区の区長が、江東5区の住民に対して、自主的に江東5区外の安全な場所への避難を呼びかけること。
(江東5区:墨田区、江東区、足立区、葛飾区、江戸川区)



2週間以上、
電気・ガス・水道・トイレ等が
使えなくなる可能性があります。

江東5区の浸水想定区域には
250万人もの人が暮らしているため、
避難に時間がかかることが予想されます。

みんなで犠牲者ゼロを実現するための避難の方法を考えよう!

